

48th year

- 1 事業内容／ビジョン
- 2 株主の皆様へ
- 5 特集
- 6 当社の歴史
- 7 トピックス
- 8 セグメント別状況
- 9 財務ハイライト
- 10 連結財務諸表

第48期 決算報告

2014年4月1日～2015年3月31日

株式会社 エヌアイデイ

「スマート社会」に新たなステージで挑戦しつづけるNID

ITの発展を根底から支える技術力とノウハウ。

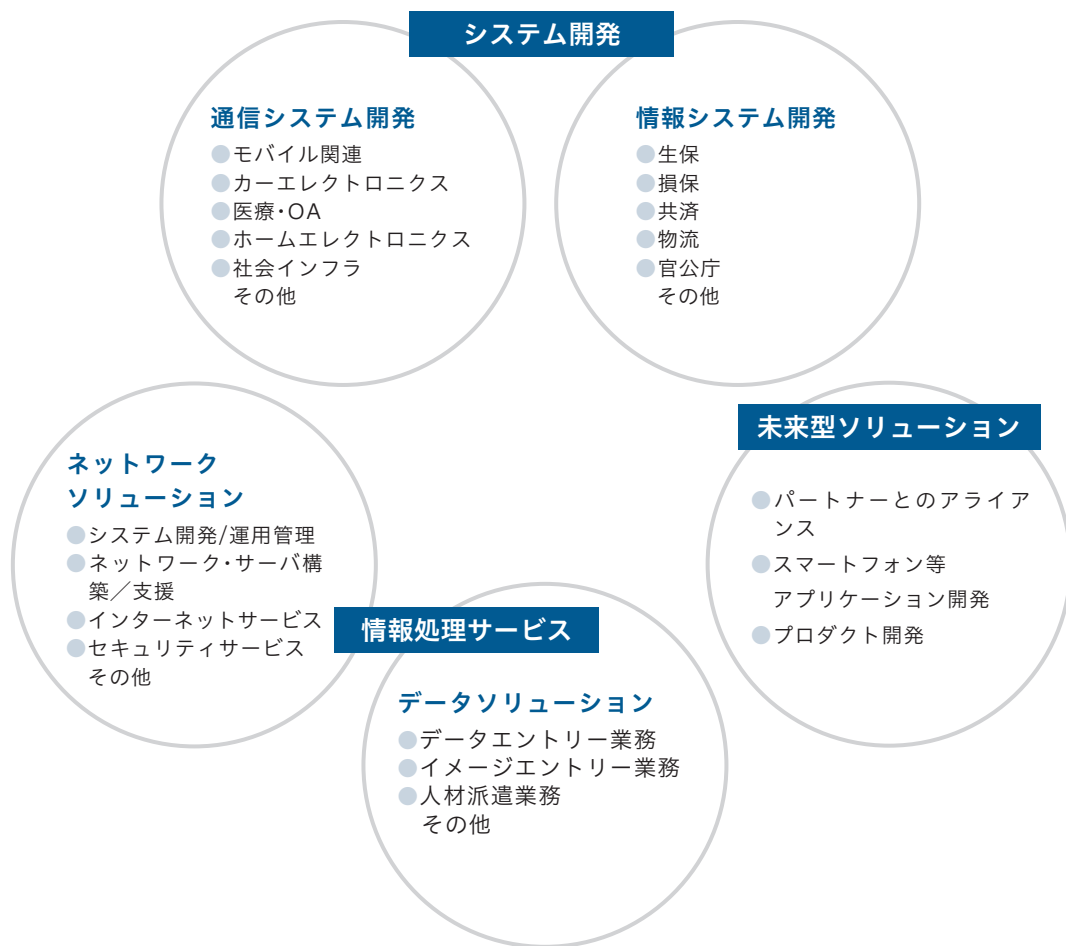
NIDでは、5つの分野でさまざまなソリューションを展開しています。

人、モノ、情報、サービスなどが常にネットワークに繋がり、時や場所にかかわらず、すぐに目的がかなえられる。

無限にひろがっていくユーザーの多様なニーズに細やかに対応していく。

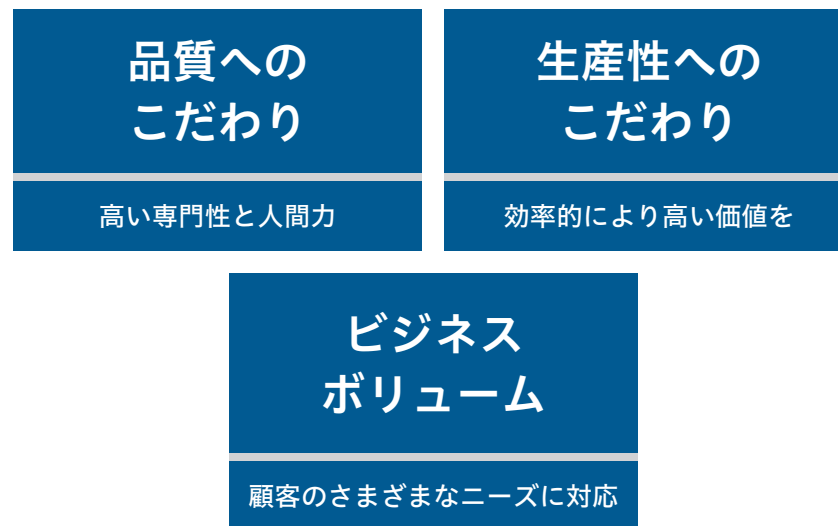
このような「スマート社会」に求められるさまざまなソリューションをお客様にまっすぐに向き合い、長年に渡って提供しつづけてまいります。

事業内容



ビジョン

専門店経営でユーザー価値を満足させる
ベスト・パートナーに!!



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より当社グループに格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社グループ2014年度（平成26年度第48期）の連結決算概況をご報告申し上げます。

円安・株高傾向が継続し、企業収益に改善が見られるなど緩やかな回復基調が続く中、当社グループが属する情報サービス業界においては、景況感の改善にともない、IT投資は緩やかな回復基調にあります。依然として市場競争は激しく、厳しい状況で推移しております。

こうした状況の中、当社グループは、基幹4事業の持続的成長と拡大を目指し、ITの進化や市場の変化に柔軟に対応し、各事業間で有機的な連携を図りながら、顧客満足度が最大となるようなサービスの提供に取り組みました。また、オープンイノベーションを継続的に推進し、他社とのアライアンスを含めたITの新たな活用方法や価値の高いサービス等、独自のプロダクト

やソリューションの創出を目指しております。

この結果、売上高16,228百万円（前期比0.7%増）、営業利益1,415百万円（前期比1.8%減）、経常利益1,558百万円（前期比3.9%増）となりました。

当期は前期に引き続き、売上高、経常利益において、過去最高を更新しました。今後も安定的な成長を続けられるよう、さらに精進してまいります。

また第48期定時株主総会が6月25日に開催され、総会終了後開催の取締役会において、さらなる経営基盤の強化を図るために、前社長の鈴木清司が代表取締役会長に就任するとともに、後任の代表取締役社長に小森俊太郎が就任いたしました。株主の皆様におかれましては、一層のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成27年6月

代表取締役社長 小森 俊太郎



第48期連結業績

（平成27年3月期）

売上高

16,228
百万円

営業利益

1,415
百万円

経常利益

1,558
百万円

当期純利益

791
百万円



顧客第一主義とバランス経営を重視し、
さらなる持続的成長を目指します。

代表取締役社長 小森 俊太郎

Q：2014年度の業績はいかがでしたか。

2014年度は、好調だった2013年度の事業環境が継続し、堅調に推移しました。その結果、過去最高を更新した2013年度の売上高と経常利益をさらに上回ることができました。

セグメント別では、通信システム事業で自動車関連と医療関連の受注が大きく伸びました。さらに無線通信分野での受注が増えるなど、通信システム事業全体で業績が回復しました。

情報システム事業は、大手顧客である損保の統合化がピークを越えましたが、20年来のお取引がある流通・製造のお客様から新規に基幹業務システムを受注することができ、影響を最小限に抑えることができました。

またネットワークソリューション事業も、主要顧客からの受注が安定的に推移したほか、NID東北で電力関連の主要顧客からの受注が回復するなどによって、前期を上回る業績を達成することができたといえます。

好調な業績の背景には、IT投資関連における市場環境の回復基調がベースにありますが、当社が基幹4事業の持続的成長に向けて、ITの進化を見据えた柔軟かつ的確な対応に努めたことが奏功したと考えます。さらにオープンイノベーションを継続的に推進するなど、二重のバランス経営の強みが現れたと認識しています。今後も顧客ニーズを満足させることでベストパートナーを増やし、持続的な成長を目指します。

**Q：今後の市場動向と事業展開について
お聞かせください。**

ITの進化を見据えて、基幹事業を積極的に変革していく必要があります。その中でも「IoT (Internet of Things)」分野が、当社の継続的成長を支える成長エンジンのひとつとなると考えています。

IoTは“モノのインターネット”と呼ばれ、さまざまなモノのネットワーク化が急速に拡大し、センサーなどから集まったあらゆるデータが解析され、自律制御が一気に進展するといわれています。これにより、さらなる大きな社会変革が生み出されるでしょう。

たとえば、工場の製造現場にあるカメラや自

動車に搭載された各種センサー、スマートフォンなどのモバイルデバイス、住宅のスマートメーターなどからデータが集められ、高度な解析結果が実社会にフィードバックされることで、今までになかった新しいビジネスが生まれます。

IoTの世界では、ハードよりもソフトウェアが主役となり、人工知能やビッグデータ解析がより脚光を浴びるはずです。当社はこれまで培った組込み技術を活かし、技術革新を加速させていく所存です。また、すでにオープンイノベーションの継続的推進の中で、人工知能によるWebテキスト解析に優れた（株）Studio Ousiaに出資したり、ビッグデータ解析のソリューションを提供する東大発ベンチャーの（株）PKSHA Technologyと協業するなど、IoTへの布石を確実に打っています。今後は、通信システム事業と情報システム事業との有機的な連携を加速させ、基幹事業そのものを変革していきます。

今後の事業環境は、引き続き厳しい状況ではありますが、お客様の投資意欲は旺盛だと思われます。当社グループは今、「ロングタイムパートナー」をメッセージとして掲げていますが、お客様に常に寄り添い、お客様の事業変化にも即座に対応しながら、確かな信頼関係と長期に渡るお取引を継続していきます。加えて、すべての事業で最大のパフォーマンスを発揮するのはもちろん、通信システム事業と情報システム事業の融合によって、IoTへの対応とそこからの第5の事業創出へと繋げていきたいと考えています。

また当社グループのビジネスモデルが、知識集約型であることから、人材の確保が長期的に重要な課題であると認識しています。2015年度は59名の新卒を採用しましたが、来年度はそれを上回る計画です。

Q：株主・投資家の皆様への メッセージをお願いします。

新たに社長に就任しましたが、バランス経営とキャッシュフロー重視の財務体質の強化というこれまでの経営方針を継承し、さらなる安定的な成長を目指していきます。特にベストパートナーとして、顧客第一主義をさらに強化していく所存です。

これらの取り組みを通じて企業価値を高めることにより、株主の皆様のご期待に添えるよう努力してまいります。

第49期連結業績予想

（平成28年3月期）

売上高

16,500
百万円

営業利益

1,550
百万円

経常利益

1,650
百万円

当期純利益

925
百万円

「ロングタイムパートナー」とは、お客様に対するNIDグループの約束の言葉です。

長年に渡って、求められるソリューションを

1967年の創業以来、当社グループはシステム開発と情報処理サービスの2領域・4分野でお客様が必要とするソリューションを最先端の技術で提供してきました。その結果、お客様からの高い評価と信頼関係によって、ベストパートナーと呼びできる長期取引中のお客様(お取引10年以上)が約90%を占めています。

これは、常にお客様とまっすぐに向き合い、その時代ごとのニーズに細やかに対応しながら、ベストなソリューションを提供してきたからです。技術力と信頼で長年に渡って満足をお届けする。「ロングタイムパートナー」とは、私たちがお客様にまっすぐ向き合う姿勢を表した約束の言葉です。

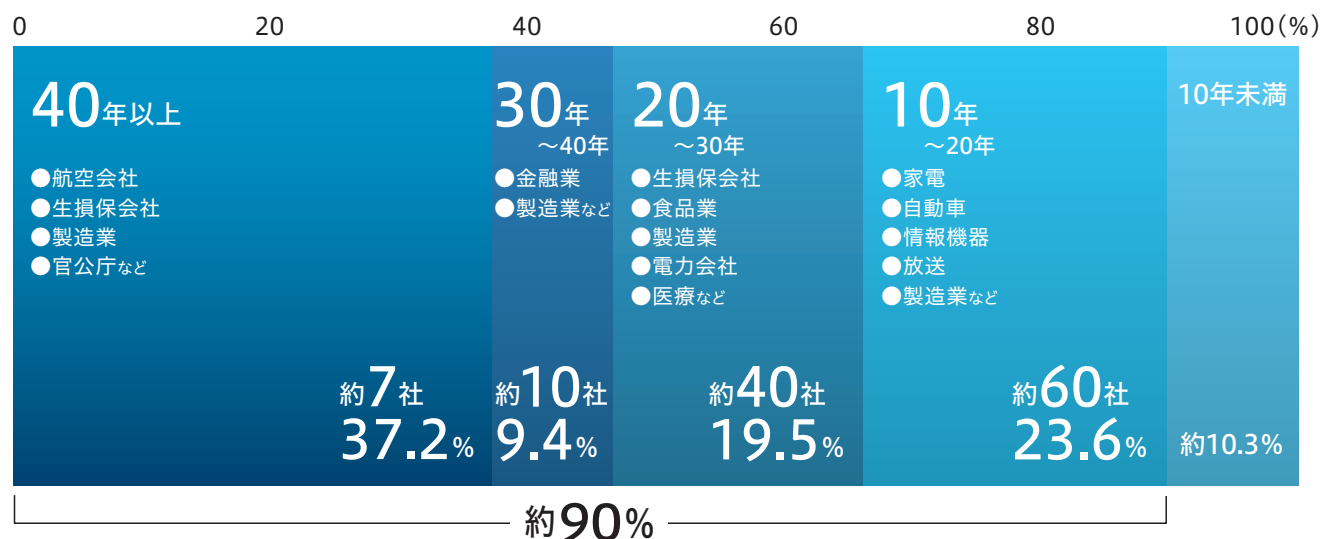
3つの強みが、信頼の源泉です

お客様にとって私たちが、「ロングタイムパートナー」でありつづけるためにこだわっているのが3つの強みです。

1つ目は、高い専門性と人間力から生み出される品質です。2つ目は、お客様にとって価値のあるソリューションを適正な価格でお届けするカスタマーバリューです。そして3つ目は、日々進化するIT社会の中で、最新のテクノロジーとスピードでお客様のあらゆるご要望にお応えできる事業規模です。

私たちは、この3つの強みを最大限発揮することが顧客満足度の高さに繋がると考え、事業活動の指針としています。

取引年数別売上高比率



独立系の情報サービス企業として、一步一步、着実に成長

1967年、データエントリーを中心とした情報サービス事業を開始。

以来、お客様のさまざまなニーズに応えるため、仕事の幅を広げながら成長をつづけてきました。

売上高

67年5月 (株)京葉計算
センター設立



69年9月 (株)コンピュー
タ・マーケティング設立
(略称CMC)



72年12月 CMCと合併、
(株)日本情報開発に社
名変更

77年4月 子会社設立
(株)インフォメーショ
ン・エントリー(現:(株)
NID・IE)



85年9月 子会社設立
(株)エヌアイディ・インフォメーションシ
ステムズ(現:(株)NID・IS)
(株)東北エヌアイディ(現:(株)NID東北)



86年5月 東京都
新宿区に移転



92年2月「SIシステムイン
テグレート企業」に認定

94年10月 (株)エヌアイディに社名変更

00年9月 ISO9001取得

03年1月 JASDAQ上場



04年3月 ISO14001認証取得

05年6月 新ロゴマークを発表

07年9月 経団連入会

10年1月 ISO27001認証取得

12年8月 本社を晴海に移転



'67

'14
(年度)

トピックス

『スマートフォン&モバイルE X P O（春）』に出展いたしました。

当社は、本年5月13日(水)～5月15日(金)の3日間、東京ビッグサイトで開催された、日本最大級のIT専門展、Japan IT Week『第5回 スマートフォン&モバイルE X P O(春)』に出展いたしました。会場には、3日間で合計8万人もの来場者が訪れ、熱気に包まれていました。

当社ブースでは3つの新サービスを展示し、多くの来場者にアピールすることができました。

1. 営業支援ウェアラブル LIVE中継ソリューション

ウェアラブルグラスを活用し、自宅など店外にいるお客様に店内の中継画像をご覧いただきながら会話ができる店舗／ショールーム向けソリューション

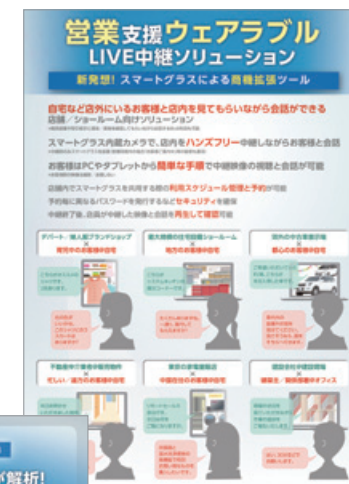
2. Linkify (リンクファイ) FOR PUBLISHERS

人工知能が文章内の注目キーワードやテキストを自動で解析・リンク化し関連記事へのアクセスに繋げるWebメディア向けのサイト回遊、UX向上ソリューション

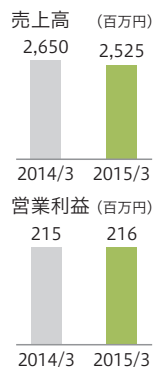
開発元:株式会社Studio Ousia

3. 切手拡張App

動画サムネイルを郵便切手に配し、マーカーとして認識することで、動画を閲覧することができるARソリューション
共同出展:株式会社トルク

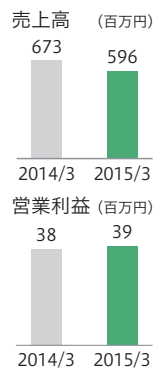


セグメント別状況



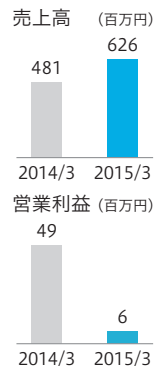
NID・IS

当事業では、システム開発の受注は安定的に推移しましたが、データエントリーでは電力関連の受注が減少しました。この結果、売上高は2,525百万円(前期比4.7%減)、営業利益216百万円(同0.6%増)となりました。



NID・IE

当事業では、政府の労働者派遣法改正に向けた動きによる影響等もあり、売上高は596百万円(前期比11.5%減)となりました。一方、利益面ではコスト削減に努めたことにより、営業利益は39百万円(同3.2%増)となりました。



NID東北

当事業では、東日本大震災の影響で落ち込んでいた電力関連の主要顧客からの受注が回復しました。この結果、売上高は626百万円(前期比30.1%増)となりました。一方、利益面では一部不採算案件が発生したことにより、営業利益は6百万円(同86.3%減)となりました。

NID・IE

596 百万円

- 通信システム開発
- 情報システム開発
- ネットワークソリューション
- その他 (BPO、人材派遣)

NID東北

626 百万円

- 通信システム開発
- 情報システム開発

NID・IS

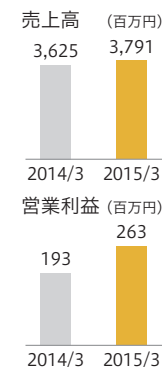
2,525 百万円

- 通信システム開発
- 情報システム開発
- 付加価値ビジネス
- データエントリー (NID業務部を含む)

通信システム事業

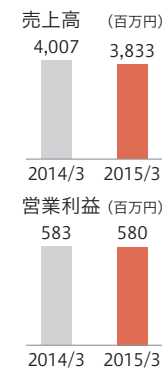
3,791 百万円

- 通信システム開発
- 付加価値ビジネス



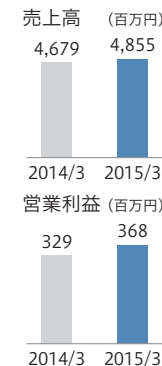
通信システム事業

当事業では、自動車関連、医療関連の受注が増加しました。この結果、売上高は3,791百万円(前期比4.6%増)、営業利益263百万円(同36.1%増)となりました。



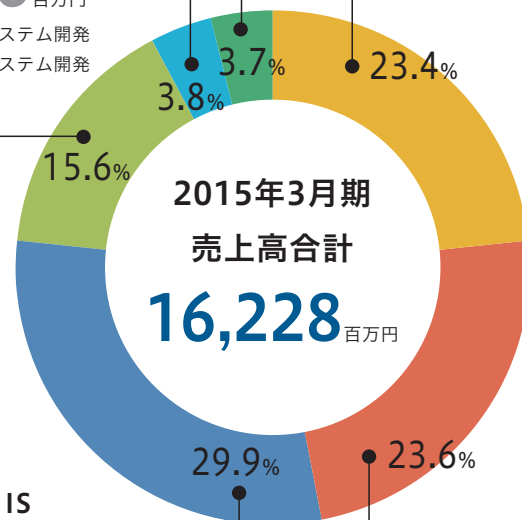
情報システム事業

当事業では、損保関連の大型開発プロジェクトが一段落し、売上高は3,833百万円(前期比4.4%減)、営業利益580百万円(同0.5%減)となりました。



ネットワークソリューション事業

当事業では、運輸業や生損保等の主要顧客からの受注が堅調に推移しました。この結果、売上高は4,855百万円(前期比3.8%増)、営業利益368百万円(同11.9%増)となりました。



ネットワークソリューション事業

4,855 百万円

- ネットワークソリューション

情報システム事業

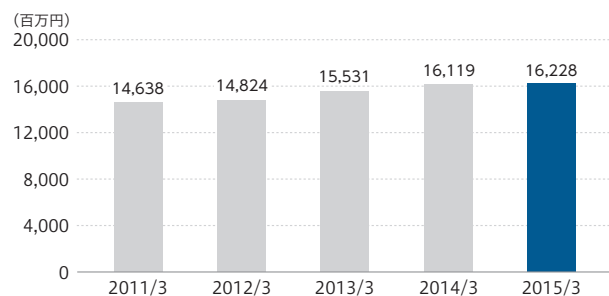
3,833 百万円

- 情報システム開発

財務ハイライト（連結）

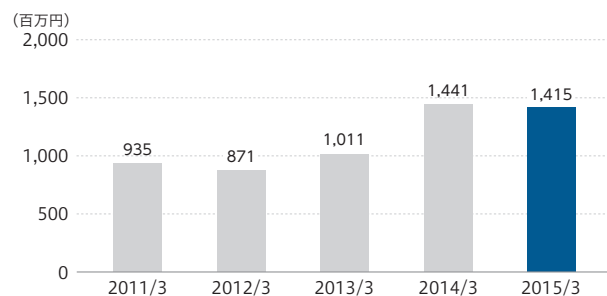
売上高 **16,228** 百万円

当期の売上高は162億28百万円（前期比0.7%増）となりました。主な要因は、通信システム事業の受注が厳しい状況にあった前期に比べ改善したことや、ネットワークソリューション事業の受注が堅調に推移したこと、東日本大震災の影響で落ち込んでいたNID東北の受注回復によるものです。



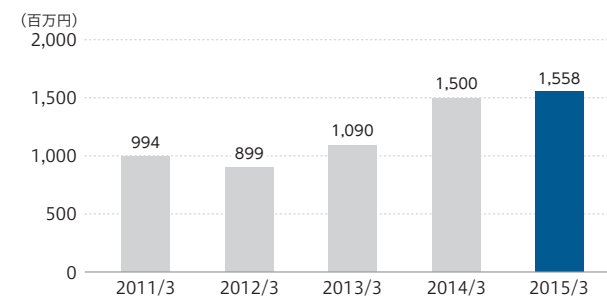
営業利益 **1,415** 百万円

当期の営業利益は14億15百万円（前期比1.8%減）となりました。主な要因は、NID東北において一部不採算案件が発生したことによるものです。



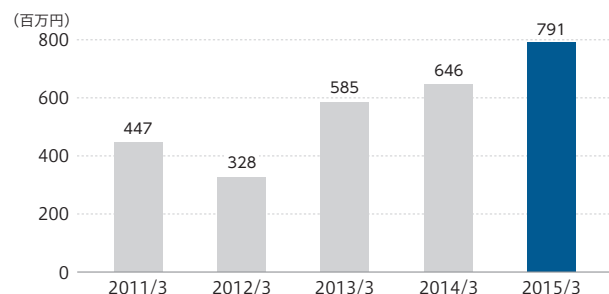
経常利益 **1,558** 百万円

当期の経常利益は15億58百万円（前期比3.9%増）となりました。主な要因は、営業外収益が増加したことによるものです。



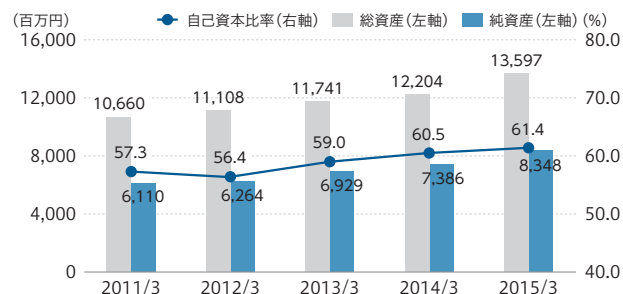
当期純利益 **791** 百万円

当期の当期純利益は7億91百万円（前期比22.3%増）となりました。主な要因は、前期に発生した契約解除損失が消え、特別損失が減少したことによります。



総資産 **13,597** 百万円
自己資本比率 **61.4%** 純資産 **8,348** 百万円

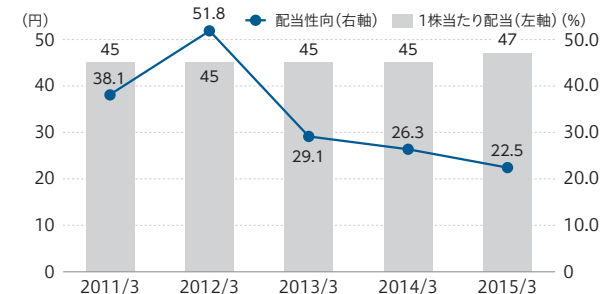
当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億92百万円増加し、135億97百万円となりました。当連結会計年度末の純資産は、利益剰余金の増加等により、前連結会計年度末に比べ9億62百万円増加し、83億48百万円となりました。この結果、自己資本比率は61.4%（前連結会計年度末は60.5%）となりました。



1株当たり配当/配当性向 **47** 円 **22.5%**

配当につきましては、安定した配当を継続していくことを基本方針としております。

本年はここ数年の当社業績から見て企業としての安定性を確立できたこと及び過去最高の当期純利益となったことを考慮し、株主様へより多く還元したいと考え、前期比2円増額して47円といたしました。今後も安定した配当を継続できるような堅実な経営に努めてまいります。



連結財務諸表

連結貸借対照表（要約）

（単位：千円）

科 目	当 期 (平成27年3月31日現在)	前 期 (平成26年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	9,800,839	8,998,317
固定資産	3,797,107	3,206,640
有形固定資産	256,059	242,189
無形固定資産	133,437	152,526
投資その他の資産	3,407,610	2,811,924
資産合計	13,597,946	12,204,957
負債の部		
流動負債	2,554,899	2,136,215
固定負債	2,694,078	2,681,960
負債合計	5,248,978	4,818,176
純資産の部		
株主資本	7,898,322	7,210,700
資本金	653,352	653,352
資本剰余金	488,675	488,675
利益剰余金	7,982,725	7,295,103
自己株式	△ 1,226,430	△ 1,226,430
その他の包括利益累計額	450,646	176,081
純資産合計	8,348,968	7,386,781
負債純資産合計	13,597,946	12,204,957

連結損益計算書（要約）

（単位：千円）

科 目	当 期 (自 平成26年4月 1 日 至 平成27年3月31日)	前 期 (自 平成25年4月 1 日 至 平成26年3月31日)
売上高	16,228,783	16,119,498
売上原価	12,944,734	12,898,825
売上総利益	3,284,049	3,220,673
販売費及び一般管理費	1,868,874	1,779,404
営業利益	1,415,174	1,441,268
営業外収益	160,043	84,938
営業外費用	16,543	25,919
経常利益	1,558,674	1,500,287
特別利益	2,247	65,196
特別損失	42,928	488,771
税金等調整前当期純利益	1,517,993	1,076,712
法人税、住民税及び事業税	595,509	415,165
法人税等調整額	131,318	14,761
少数株主損益調整前当期純利益	791,165	646,785
当期純利益	791,165	646,785

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：千円）

科 目	当 期 (自 平成26年4月 1 日 至 平成27年3月31日)	前 期 (自 平成25年4月 1 日 至 平成26年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,062,808	1,154,998
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 645,032	△ 320,237
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 174,117	△ 176,740
現金及び現金同等物の増減額	243,658	658,019
現金及び現金同等物の期首残高	6,029,485	5,371,465
現金及び現金同等物の期末残高	6,273,144	6,029,485

会社概要（2015年3月31日現在）

社 名 株式会社エヌアイディ
英 社 名 (Nippon Information Development Co., Ltd.)
所 在 地 〒104-6029
(本 社) 東京都中央区晴海 1-8-10
晴海アイランドトリトンスクエア X 棟 29階
TEL: 03-6221-6811 (代)
FAX: 03-6221-6812

設 立 1967年(昭和42年)5月
資 本 金 6億5,335万円
役 員 取締役最高顧問 小 森 孝 一
(2015年6月25日現在) 代表取締役会長 鈴木 清 司
代表取締役社長 小 森 俊太郎
専 務 取 締 役 馬 場 常 雄
常 務 取 締 役 北 雅 昭
取 締 役 盛 満 敏 昭
取 締 役 石 井 廣
取 締 役 濱 田 清 ※1
常 勤 監 査 役 千 保 郁 夫
監 査 役 千 年 雅 行 ※2
監 査 役 松 山 元 ※2

※1.濱田氏は社外取締役であります。

※2.千年氏及び松山氏は社外監査役であります。

社 員 数 単体909名 連結1,366名
事 業 内 容 〈システム開発事業〉 通信システム開発
情報システム開発
〈情報処理サービス事業〉 ネットワークソリューション
データエントリー
その他

関 連 会 社 (株)NID・IS
(株)NID 東北
(株)NID・IE
主要取引銀行 三菱東京UFJ銀行
みずほ銀行
りそな銀行
三井住友銀行
三菱UFJ信託銀行
千葉銀行
佐原信用金庫

株式の状況、株主メモ、株主様向けアンケート

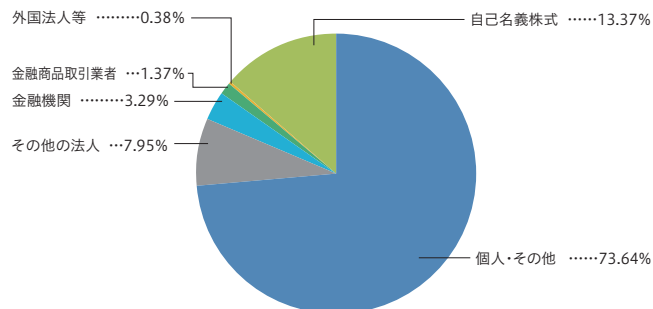
株式の状況(2015年3月31日現在)

(1)発行可能株式総数	17,479,320株
(2)発行済株式の総数	4,369,830株
(3)株主数	1,135名
(4)大株主	

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
小森俊太郎	630,460	14.42
株式会社エヌアイディ	584,279	13.37
小森孝一	549,282	12.56
エヌアイディ従業員持株会	380,996	8.71
株式会社クリエートニーワン	233,700	5.34
小澤忍	150,032	3.43
鈴木清司	104,092	2.38
一般財団法人小森文化財団	100,000	2.28
馬場常雄	73,050	1.67
菅井源太郎	72,492	1.65

※比率は、株主名簿をもとに有価証券報告書と整合性をとっています。

所有者別株式分布状況



※比率は、株主名簿をもとに有価証券報告書と整合性をとっています。

【商標について】記載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。

株主メモ	
事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.nid.co.jp/kessan.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 エヌアイディ

〒104-6029 東京都中央区晴海 1-8-10
晴海アイランドトリトンスクエア X棟 29階
TEL:03-6221-6811(代) FAX:03-6221-6812

<http://www.nid.co.jp>

株主様向けアンケート

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、
アクセスコード入力後に表示される
アンケートサイトにてご回答ください。
所要時間は5分程度です。

<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 2349

いいかば 検索

空メールによりURL自動返信
kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

携帯電話からもアクセスできます
QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から
抽選で薄謝(図書カード500円)
を進呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社 a2media)についての詳細 <http://www.a2media.co.jp> ※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL:info@e-kabunushi.com

UD FONT
見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。